

# 教育委員会

## 1. 佐賀市教育基本計画

佐賀市ならではの教育施策を進めていくためには、社会情勢の変化に迅速に対応していくことはもちろんのこと、0歳から義務教育修了時の15歳までの「子どもの育ち」を念頭に入れた中長期的な視点で教育の方向性を定める必要があります。

本市教育委員会においては、佐賀市における中期的（5年間）な教育基本計画をH17年度に制定し、この計画に基づき家庭・学校・地域・行政が一体となって取り組んでいます。

### 教 育 目 標

## 新しい“さが”を担う責任と自覚をもつ人づくりをすすめます

自分の行動への責任と郷土（佐賀）を担う自覚を持ち、国際化・情報化社会を心豊かでたくましく生きる子どもたちの育成に努めます。

基本目標を達成するために、子どもの育ちに関わる役割を下の5つの視点からとらえ、基本方針としました。

### 「家庭の力」の向上

大人が子どもを愛し、子どもに生活習慣や社会のルールを身に付けさせることができるように「家庭の力」を高めます。

### 「保育・教育の質」の向上

保育所・幼稚園・学校は、集団生活の中で豊かな心を育み健やかに育つよう、子どもの学びをつなぎます。また、確かな学力とともにたくましく生きる力を身につけるよう、「保育・教育の質」を高めます。

### 「地域の教育力」の向上

地域は、子どもを地域の一員として見守り、育てていくことができるよう「地域の力」を高めます。

### 生涯学習の推進

生涯学習を通じて得た知識や経験を家庭、学校、地域社会で役立てられるよう「学びつづける力」を高めます。

### 「市民の力」の結集

行政は、教育を取り巻く現状を把握し、将来を見据え、佐賀市の教育に「市民の力」を活かします。

## 2. 教育委員

役職名	氏名	職業	委員就任年月日	委員現任期
委員長	北島 恭一	会社役員	H17. 11. 5	H17. 11. 5 H21. 11. 4
委員 (委員長職務代理者)	古賀 靖之	大学教授	H17. 11. 5	H17. 11. 5 H20. 11. 4
委員	山下 恭子	短大助教授	H17. 11. 5	H17. 11. 5 H19. 11. 4
委員	山本 辰郎	自営業	H18. 11. 5	H18. 11. 5 H22. 11. 4
教育長	田部井 洋文	公務員	H17. 11. 5	H17. 11. 5 H21. 11. 4

\*委員任期4年（ただし、合併後最初の委員任期は、4年～1年とする。）・委員長任期1年で再選されることができる。

## 3. 就学前からの教育の充実

### (1) 幼児教育の充実 4-2

#### ① 幼保小の接続期における教育推進

##### (ア) 「校園所長会」の設置

従来の小中学校の校長会に、幼稚園・保育園（所）の園・所長を含めた会を月1回行う。

##### (イ) 指導主事の配置

指導主事をこども課に配置し、幼保小の連携強化を図る。

##### (ウ) 校区毎の幼保小連携会議の充実と核になる校区の指定

幼保小相互の交流と情報交換のため、各小学校区連絡会議の内容充実を図るとともに、核となる地域を指定し、その地区からの発信で各地域の活動を活性化させる。

##### (エ) 各種、合同研修会

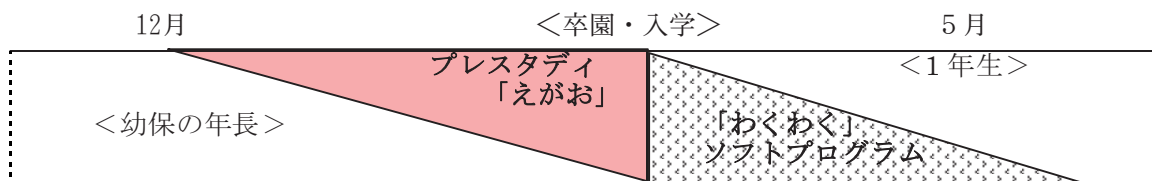
保育従事者研修会や、幼保小合同研修会を開催する。

##### (オ) プレスタディ、ソフトプログラムの提案と実践

幼稚園、保育所から小学校への接続期の教育充実のため、プレスタディ「えがお」（幼稚園・保育所対象）、ソフトプログラム「わくわく」（小学校対象）の検討・検証を行い、保護者の小学校入学に対する不安解消や小1プロブレムの解消を図る。

また、健全な食生活を実現することで子どもの豊かな人間性を育むために、管理栄養士を配置し、園や児童・保護者への食育指導を行う。

#### 幼保小の「育ちと学び」の連続性について（イメージ図）



○ プレスタディ「えがお」について

幼稚園・保育園における、5歳児保育では、幼稚園教育要領、保育所保育指針の5領域を基本としながら、「学びの芽ばえ」を促すために、5歳児の12月～3月に「プレスタディ」の内容を入れた遊びを織り込んだ保育を展開する。プレスタディの要素をいれた「遊び」を取り入れることで、学びの芽ばえや友達と関わる力を育み、小学校への就学の準備ができ、なだらかな移行が図れるようになると思う。

○ ソフトプログラム「わくわく」について

幼稚園・保育所5歳児における「プレスタディ」を受け、市内全部の小学校で1年生5月末までの間、教科の学習へとなだらかに繋ぐためのプログラムを実施するもので、国語、算数、生活科を対象とする。身に付けさせたい学習習慣を織り込んだ、ゆるやかな展開や遊び的な要素を加えた内容で、幼保の学びと育ちの流れを汲んだものとする。

② 幼稚園特別支援教育の実施

障がい児の受入れを実施している市内の私立幼稚園に対し、その経費の一部を補助することにより、障がい児の幼稚園への就園の促進に努めていく。

	16年度	17年度	18年度
受入人数	13人	23人	29人
受入園	10園	13園	16園
実績額	2,385千円	4,442千円	5,570千円

(2) 義務教育の充実 4-2

① 基礎基本到達度診断調査事業の実施

小学校3年生の全児童対象に、「基礎基本到達度診断調査」を国語と算数の2教科で行い市内の小学生の基礎基本の到達状況を判断する資料としていく。調査結果は、それぞれの学校に戻し、児童への指導や教師の指導方法改善に生かすとともに、佐賀市の調査結果として、分析・改善点についてホームページに公開している。

② 「オンリーワン」のさが体験活動の推進

佐賀ならではの、地域ならではの各学校の特色に応じた体験活動を行うことにより、豊かな感性を育むとともに郷土への理解と愛着を深め、ふるさとのよさを実感し、誇りに思う気持ちを育成する。

③ 地域人材活用の推進

各小中学校では、学校の独自性や地域の特色を生かしながら、これまで以上に各教科や道徳、総合的な学習の時間、学校行事等において、地域の人材を活用した教育活動に取り組んでおり、教育委員会では、これを支援している。

④ キャリア教育の推進

自分の夢や生き方についての指導を道徳や学級活動、総合的な学習の時間の中に位置づけ、自らの将来について目を向ける機会を通して、「夢に向かって努力する」「自分らしい生き方を実現する」態度を、意図的・計画的に指導している。

キャリア教育プログラムとして、小学生が、地元商店街等で商売を体験する「キッズマート」や、佐賀市を中心に活躍する職業人に話を聞き将来の夢や自分の生き方を考えさせる「職業人に聞く」を、中学生が、いろいろな職場や事業所で活動する「職場体験学習」を核とした授業や活動を実践している。

H18年度実績	キ ャ ッ ジ ャ マ ー ト	勸興小、循誘小、神野小
	職 業 人 に 聞 く	本庄小
	3 ～ 5 日 間 職 場 体 験	城南中、昭栄中、城北中

⑤ 環境教育の推進

小中学校における環境教育を推進するために、実践しやすい環境教育のカリキュラムや教材等を作成・整備する。H19年度は、環境教育の広がりを進めるため、旧町村を含めた7校（小学校4校、中学校3校）を実践協力校に指定し、その活用を推進する。

⑥ 学校版環境ISOの取り組み

児童生徒と教職員が環境について考え、環境保全を実践し、環境にやさしい学校マネジメントシステムを目指す取り組みを行う。

H14年度に佐賀市と佐賀市教育委員会が設けた「学校版環境ISO制度」により、各学校が独自に作成した実行計画をもとに取り組む。H17年度までに、旧佐賀市内の小中学校全てが認定取得し、H18年度から、旧町村の学校で認定取得が進むよう取り組んでいる。

⑦ 英語指導員の活用

国際理解教育の一環として、小学校のうちから英語によるコミュニケーション活動を行うことにより、日本や外国のよさや違いを理解し、中学校での英語科の授業への不安を軽減するとともに、小中学校を見通した英語教育充実を図る。

平成18年度は、研究委嘱校に英語指導員を派遣して、年間計画に基づいた英語活動等の授業を行い、その成果を各小学校に発信した。本年度は、文部科学省の委嘱を受け、勸興小学校を英語活動拠点校に指定し、昨年度の成果をさらに拡充、発展させていく。

H18年度英語指導員	指導員数
配置状況	2人

⑧ ALT（外国語指導助手）の活用推進

中学生の英会話能力の向上のため、ALTを中学校へ配置している。また、子どもの英語活動への興味・関心を高めるために、小学校及び市立幼稚園へALTを派遣している。

⑨ 特色ある学校運営の推進

小中一貫芙蓉校（H17～18年度）

児童生徒や保護者、地域住民が学校教育に求めるニーズの多様化に対応するため、学校と教育委員会が協働して特色ある学校運営を推進する。6－3制の枠をはずし義務教育9年間の学びをつなぐことで、児童生徒の発達に即した新しい教育課程や学校運営体制を創造する。

地域応援団による開かれた学校づくり：金泉中（H17～18年度）

地域住民の協力を得た教育活動を展開していくことで、中学校と地域の関係をより強固にし、不登校や学校内外での問題行動にみられる生徒の身体的、心理的な発達状況に応じた問題の解決法を探っていく。

コミュニティスクール推進事業：城南中、赤松小、北川副小

地域住民や保護者が地域学校協議会の委員として、一定の権限をもって学校運営に参画することを通して、学校と地域住民との双方向の信頼関係を深め、地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりを目指す。

山村の活性化を目指した北山の教育づくり

強固な小中連携教育をもとに、山村の環境を活かした教育プログラムを開発する。魅力ある学校づくりを学校、保護者、地域住民、佐賀市教育委員会が協働して行うことで、山村の地域おこしの契機にもしていく。

⑩ スクールカウンセラー・スクールアドバイザーの活用

すべての中学校区に臨床心理士や大学の教授からなるスクールカウンセラー、または、豊富な教育相談の経験を有するスクールアドバイザーを配置し、児童生徒や保護者の教育相談に応じている。また、校内研修の機会などを通じて、講話・演習等を依頼し、教師のカウンセリング能力の向上に努めている。

⑪ 学校不適応児対応サポート事業の推進

不登校の児童生徒の家庭に「サポート相談員」が出向き、個別に指導・相談を行うなど積極的・継続的に働きかけを行い、学校への復帰支援を進めている。心理的・情緒的要因、怠学傾向（非行を除く）等により登校できない状態にある児童生徒に対して、個別や小集団での相談・指導を行い、自立を促しながら集団生活への適応力を育み、学校への復帰を目指している。

H18年度サポート相談員	指導員数
配置状況	5人

⑫ 不登校児童生徒の学習支援（IT等の活用）

H18年度から、適応指導教室「くすの実」にIT学習指導員を配置し、引きこもりの児童生徒の家庭と「くすの実」をインターネットで結び、学習支援を行う。また、家庭訪問による学習指導を行う学習ボランティアを派遣し、学校復帰を支援している。

H18年度 I T 事業学習指導員 配置状況	I T 学習指導員数 1人	学習ボランティア指導員数 3人
---------------------------	------------------	--------------------

⑬ ほのぼの育成指導員・生活指導員の活用推進

不登校傾向にある児童の相談相手や悩みのある児童の学校生活を支援するために、ほのぼの育成指導員を配置している。また、心身に障がいのある児童生徒の学校生活や学習を支援するため、生活指導嘱託員を配置している。

H 1 8 年 度 指 導 員 配置状況	ほのぼの育成指導員数 6人	生活指導員数 21人
-------------------------	------------------	---------------

⑭ 心身障がい児教育の研究

教職員の特別支援教育への理解と対応のあり方を向上させるため、啓発指導員・調査員合同会議や特別支援教育研修会を開催している。各学校において特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会を立ち上げ、個々の生徒への組織的な対応をするとともに、発達障がいの理解と対応のための研修を実施している。また、養護学校や専門機関からの巡回相談や専門家の招聘など、外部との連携を行っている。

⑮ 芸術劇場の招致

市内の小中学校にレベルの高い生の舞台芸術を派遣することにより、芸術に対する新鮮な感動を与え、芸術文化への興味と関心を深めるとともに、児童・生徒の豊かな情操をはぐくむ場とする。

H18年度 実施校	鍋島中、富士小、富士南小、北山小、北山東部小、城東中、三瀬中、 昭栄中、赤松小、嘉瀬小、日新小、西与賀小、諸富北小
--------------	--

⑯ 早稲田佐賀21世紀子どもプロジェクト

早稲田大学と協力し、市内在住の中学生に対し佐賀が生んだ「大隈重信」や佐賀の自然環境を学ぶことにより、21世紀の日本を担う人材の育成を図る。平成19年度は、早稲田大学創立125周年記念特別企画として、市内中学生を対象として、大隈重信をテーマとしたスピーチコンテストを開催する。

⑰ 新佐賀市社会科副読本の整備

合併した新佐賀市について学び、地域としての理解を深めることによって一体感を育み、ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持つ人材の育成に努めている。

⑱ 佐賀市教育研究所の運営

佐賀市が抱える様々な教育課題の解決のため、教育研究所の機能強化を行っている。教職員の研修の充実、教職員向けデータベースの構築、さらに、教職員の研究意欲の高揚及び教育活動の活性化を図るため、個人やグループによる研究及び教材・教具の創作への応募を奨励・支援している。

⑲ 教職員研修会への支援

各学校の校内研究を充実させるため、研修費や指導主事派遣などにより支援を行っている。ま

た、教職員の指導力向上や指導方法の工夫改善につなげるため、教育研究所主催の教職員を対象とした研修会を行い、教職に対する熱意と教育の専門家としての確かな力量を培い、学校の活性化を目指している。さらに、教職員の自主的な研修グループの活動を支援するため、研修費の一部助成を行っている。

#### ⑳ 支援指導員の派遣

様々な理由で教育活動に支障をきたしている教員に対して、支援指導員を派遣し児童生徒の指導の補助にあたることで、教育環境を公平に保障し、児童生徒一人一人の個性や能力を最大限に伸ばすことを目指す。

#### ㉑ 各種大会出場補助

佐賀市に在住する小中学生が、九州または全国規模のスポーツ大会やコンクール等に出場する場合に派遣費の一部を補助する。保護者の負担を軽減し、九州・全国大会への出場の機会を保障するとともに、児童生徒の競技力・技術力の向上を図り、青少年の健全育成に資することを目的としている。

### (3) 学校経営の充実 4 - 2

#### ① 学校経営方針の明確化と学校運営の改善

基礎学力の定着やいじめ、不登校への対応、また、個性を生かし開かれた学校づくりを推進するため、各学校では、教育目標を分かりやすく構造化するとともに、より具体化した教育計画の策定に努める。教育目標を具現化するために、各学校では学校運営組織の見直しに取り組み、組織としての機能の充実に努める。

各小中学校がどのような教育内容に力を入れ、どう取り組もうとしているのかなど、学校経営方針や教育活動を保護者や地域住民に十分に理解していただくために、H14年度から学校ごとにパンフレットを作成し家庭や地域に配布したり、学校ホームページに掲載したりしている。

#### ② 目指す子ども像の明確化と確かな評価

義務教育修了時に目指す子ども像をより具体的な姿として明示し、各学校の教育の重点に盛り込む。あわせて、子どもたちの到達状況を把握し、市民に示すとともに、補充学習に力を入れていく。

#### ③ 学校評議員の活用

学校が保護者や地域住民の信頼に応え、地域と連携協力して児童生徒の健やかな成長を図るため、全学校に学校評議員を委嘱している。校長は、学校運営に係わって学校評議員に広く意見を求めるようにしている。また、学校評議員制度の充実に努めるため、学校評議員や校長等を対象とした研修会を開催している。

#### ④ 学校外部評価システムの充実

校長、教職員、児童生徒、保護者による自己評価を全校で実施し公開するとともに、地域住民、学校評議員等による外部評価を充実させ、開かれた信頼される学校づくりを目指す。また、佐賀

市にふさわしい学校第三者評価のあり方を検討していく。

⑤ 小中学校のマネジメント支援

児童・生徒が充実した学校生活をおくることができるように、各学校の教育目標の特色に応じた教育活動を支援する。また、保護者や地域住民の意見を積極的に取り入れ開かれた学校づくりを目指し、各学校の独自性を高める。

⑥ 学校事務改善事業

H16年度に作成した学校事務改善の方向性に沿って、教員の事務負担軽減や学校経営管理時間を創出し、教育の質の充実を図る。また、学校経営管理を円滑に行い、積極的な情報発信を行うことで地域との連携に役立てる。

⑦ 教育講演会の開催

佐賀市教育研究所や個人研究等における研究・実践の発表、及び佐賀市の教育に関し、当面する教育課題やその対応等についての講演を聴くことにより、教職員の資質向上を図る。また、保護者・市民等の参加を募り、佐賀市の教育への理解を深める。H18年度は、H19年1月5日に開催した。

⑧ 学校フリー参観デーの開催

市内各小中学校において、授業や給食など教育活動の参観を児童生徒の保護者だけでなく広く市民にも公開し、開かれた学校づくりの一環として、また、佐賀市の教育に対する理解促進のために実施している。

H 18 年 度	第 1 回 目 ( 6 月 4 ・ 11 ・ 18 日 )	第 2 回 目 ( 10 / 26 ~ 12 / 5 )
参 観 者 実 績	19,069 人	11,388 人

⑨ 学校ホームページの充実

特色ある学校づくりを進めて、教育内容や学校の様子を外部に知らせるため、その手段のひとつである学校のホームページを充実させる。そのため、学校でホームページの更新が活発にできるよう教職員に研修を行っている。

⑩ 通学区域制度の弾力化

児童生徒及び保護者の希望に配慮した学校指定を行い、学校教育の円滑な運営を進めるため、通学区域制度の運用の弾力化を図っている。

従来の通学区域やいじめや昼間留守家庭など特別な理由により指定校の変更を認める制度を維持しつつ、小学校1年生の入学時に隣接校や特認校制を選択できる学校選択制を導入している。

⑪ フッ素洗口によるむし歯予防

フッ素洗口によって歯の歯質を強化してむし歯の予防を行う。また、フッ素洗口を通して、児童が自分の口腔内の状態に関心を持つとともに、むし歯になりやすい小学生の時期にむし歯になりにくい状態を保たせることで、健康な歯で、健康な食生活を送る児童を育成する。

⑫ 学校体育の充実

生涯にわたって、体育・スポーツ活動を通して、健康で明るい生活を営み、健康の保持増進、



体力の向上を図っていくための正しい理解と望ましい習慣を身につけさせるため、次のような事業を実施している。

- ・ 体育主任会や各種実技講習会の開催等による指導者の資質の向上
- ・ 小学校運動能力テスト及び中学校体力テストの実施に基づく運動能力の実態把握
- ・ 市中学校総合体育大会及び新人大会（市中学校体育連盟と共催による競技大会）の実施
- ・ 創作ダンス発表会、水泳大会、駅伝大会、団体マラソン等の開催
- ・ 市中学校体育連盟運営の助成
- ・ 県中学校総合体育大会出場選手への派遣費の一部助成

⑬ 学校保健の充実

児童生徒の健康状況を把握し、学校・家庭・学校医等が連携を図りながら、心身ともに健康な児童生徒を育成するために、次のような事業を実施している。

- ・ 保健体育科の時間を中核にしなが、特別活動の学級活動や学校行事をはじめ総合的な学習の時間など、学校教育活動全体の中における健康に関する教育への取組
- ・ 学校保健法に基づく健康診断の適正な実施と事後措置の徹底
- ・ 学校保健関係団体（医師会、歯科医師会、薬剤師会、学校保健会）との連携

⑭ 学校情報携帯メールの配信

通学途中の児童生徒の犯罪被害や災害被害に関する緊急情報を市内の学校関係者に発信し、情報を共有することによって防犯罪・災害に対する家庭・学校・地域の連携推進を図り、児童生徒の安全確保に役立てる。

⑮ 学校安全の推進

事故の要因となる学校環境や児童生徒の学校生活等における危険を早期に発見し、速やかに除去するとともに、交通事故や自然災害が発生した場合には、適切な応急手当、安全措置ができる体制を確立し、児童生徒の安全確保を図るため、次のような事業を実施している。

- ・ 各学校の組織の確立と学校安全担当者研修会等による安全教育及び安全管理の徹底
- ・ 通学路危険箇所調査の実施、それに基づく警察署や道路管理者への依頼による通学路の整備
- ・ 各学校での交通教室等による交通安全指導の徹底
- ・ 学校管理下における事故者等への日本スポーツ振興センター共済給付事業及び佐賀市学校災害補償事業（全国市長会学校災害賠償補償保険給付事業）の実施

⑯ 結核予防対策の推進

全児童生徒を対象に問診票による調査及び学校医による健診を行い、精密検査が必要かどうかを判定する機関として、佐賀中部保健所管内で佐賀中部地域小中学校結核対策委員会を組織し、結核予防対策に努めている。

⑰ 教育委員会のマネジメント強化

教育委員会が、教育行政のリーダーシップをとるための体制づくりを行う。また、教育行政への理解と関心を高めるために教育情報の提供の充実を図っていく。

#### (4) 教育機会の均等化 4 - 2

##### ① 就学援助

経済的理由により就学困難な児童生徒に対して援助し、義務教育を保障する。

年 度	認 定 者	事 業 費
H18年度	2,111人	133,028千円

##### ② 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級へ就学する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力に応じて必要な経費を補助する。

年 度	認 定 者	事 業 費
H18年度	85人	2,545千円

##### ③ 通学費補助

通学区域が広い山間部（大和町、富士町）の児童生徒の、円滑な就学を促すため、通学費（バス定期券）の一部を補助する。

年 度	認 定 者	事 業 費
H18年度	126人	9,908千円

##### ④ 佐賀市奨学金

経済的な理由により就学困難な高校生に対し、奨学金を給付し、有用な人材を育成する。

年 度	支 給 人 数	支 給 金 額
H18年度	62人	7,143千円

##### ⑤ 奨学金貸付

遠隔地に居住する子どもが高等学校等で教育を受けようとする場合、保護者の負担を軽減するために奨学金を貸し付けている。なお、本事業は18年度で廃止した。

###### 【富士町育英資金】

年 度	支 給 人 数	支 給 金 額
H18年度	6人	2,295千円

###### 【三瀬村就学支援費】

年 度	支 給 人 数	支 給 金 額
H18年度	5人	1,000千円

##### ⑥ へき地高等学校生徒通学費補助

へき地に居住する子どもに対し、高等学校または高等専門学校へ通学する際のバス代の一部を助成している。

H18年度	支 給 人 数	支 給 金 額
富 士 町	105人	11,983千円
三 瀬 村	40人	4,103千円

## ⑦ 奨学事業

同和地区の教育水準の向上を目的として、経済的理由により就学が困難な児童、生徒、学生に対し、必要な経費の一部を補助している。なお、本事業は18年度で廃止した。

年 度	支 給 人 数	支 給 金 額
H18年度	延べ67人	2,536千円

## (5) 安全な給食の提供と食育の充実 4-2

### ① 学校給食維持管理事業

学校給食用食器として使用する椀と皿は、旧佐賀市ではH13年度に切り替えを完了した。H15年度には、デザート用の小スプーンを導入し、献立に応じた食器具を利用するとともに、デザート用付属サジの使用を抑えることにより学校版環境ISOへの取組にもつなげている。また、H17年度からは箸の正しい持ち方ができるように低学年（1～3年生）児童用の箸を導入した。今後は、合併した旧町村も含めて整備を進め、取り組みを推進する。

### ② 食に関する教育指導の充実

給食の時間だけでなく、H18年度に作成した「食育指導の手引き」を活用しながら特別活動の学級活動や学校行事をはじめ、各教科、道徳、総合的な学習時間等で、食に関する教育を積極的に行っている。また、県費栄養職員の未配置校へ市費嘱託栄養職員の配置をすすめ、食に関する教育の充実を図っている。この他にも各学校にフォーク・ナイフ・箸置きを整備し、食事マナーの習得を図るとともに、児童の健康状態や栄養摂取量を把握するため食事状況調査を市内6校の5年生に実施している。

### ③ 学校給食における安全性の確保

H13年4月から国内産小麦を使用したパンを給食に導入している。遺伝子組み換え大豆を原料にしない本醸造醤油「元気」を県味噌醤油醸造協同組合との共同で開発し、学校給食に使用している。遺伝子組み換え食品については、食材納入業者の協力を得ながら、長期的な安全性が確認されるまでは、使用しない方向で取り組んでいる。

食肉については、県内産で生産履歴の明確なものを使用し、ハムやベーコンなどの加工品もJAS規格製品、もしくは県内産の材料を使用して製造されたものを使用している。

### ④ 学校給食食材の地場産品導入

食を通して、生産者と消費者側である子どもたちとの信頼関係が生まれ、農薬の影響がない安全な食材の生産や郷土の環境を守る大切さが子どもたちの中に育つことを目的に、学校給食にふるさとの新鮮な地場産品を導入している。H14年4月からは、佐賀市の子どもたちが学校給食で食べる米穀については、佐賀市産米（ヒノヒカリ）を100%使用している。野菜についても、地元で収穫された安全で新鮮なものを使用するよう努めている。

### ⑤ 学校給食の一部民間委託事業

調理員の適正配置と学校給食の運営体制の効率化を図るために、調理業務と洗浄にかかる業務

を民間委託する学校給食の一部民間委託を平成15年度から本格実施に移行し、退職者等欠員の状況に応じて、委託校を拡大していく。平成18年度末現在、8校で一部民間委託を実施している。

(6) 教育環境の充実 4-2

① 小中学校の施設改修及び学校建設

各校の実状に応じて、校舎、屋内運動場、プール等の改修工事及び建替えなどを行うことにより、施設の延命化を図り、また、児童・生徒、教職員や利用者の安全確保を図る。

② 学校施設整備総合計画の策定

昭和40年代から50年代に大量に整備された校舎が改築及び改修時期にきているため、校舎等の耐震診断・耐力度調査等を行い、校舎等の強度・危険度を把握し、計画的に整備を行う。

③ 小・中学校児童生徒用図書整備

学校図書館の児童生徒用の図書整備を進め、読書指導の活性化はもとより、学校の教育課程の多様な展開に寄与するとともに、学習情報センターとしての機能充実を目指す。

④ 学校図書館資源共有事業

佐賀市内45校すべての小中学校の学校図書館蔵書をデータベース化するとともに、学校間及び市立図書館とのネットワークを構築し、図書資源の共同利用化を推進し、学校の教育課程の展開に寄与する。

資源共有化の一環としてH15年度からHP「さがしのがっこうとしょかん」を開いている。

【URL】 <http://lmc.city.saga.saga.jp>

⑤ 小・中学校教育用情報機器の更新・整備

H9年度から、IT社会に対応する児童生徒を育成するため、コンピューターに関する知識と操作能力の習得や、各教科教育の支援となるよう、教育用コンピューターを小・中学校に整備・更新している。1人1台の環境で学習できるよう、中学校では当初から、小学校ではH16年度から、順次拡大して整備をしている。

⑥ 小中学校への高速インターネット回線整備状況

回線種別	小 学 校	中 学 校
光ファイバー (6校)	西与賀、嘉瀬、兵庫、本庄	城南、昭栄
CATV (17校)	勸興、循誘、日新、赤松、神野、巨勢、高木瀬、北川副、鍋島、新栄、若楠、開成	成章、城東、城西、城北、鍋島
ADSL (14校)	金立、久保泉、芙蓉、諸富北、諸富南、春日、川上、春日北、三瀬	金泉、芙蓉、諸富、大和、三瀬

○児童生徒数、学級数一覧

(本庄幼稚園)

区分	3歳児	4歳児	5歳児	合計
園児数	16	37	45	98
クラス	1	2	2	5

(小 学 校)

平成19年5月1日現在

学校名	区分 学年	普 通 学 級						小計	特 別 支 援 学 級						小計	合計
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		1年	2年	3年	4年	5年	6年		
勸 興	児童数	43	54	52	49	56	53	307	0	0	2	0	3	3	8	315
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	(知的1・情緒1・病弱1)						3	15
循 誘	児童数	104	80	79	73	82	89	507	0	1	5	2	1	3	12	519
	学級数	3	2	2	2	3	3	15	(知的2・情緒1)						3	18
日 新	児童数	102	90	98	91	79	111	571	0	0	4	1	1	1	7	578
	学級数	3	3	3	3	2	3	17	(知的1)						1	18
赤 松	児童数	96	95	87	100	99	90	567	0	2	3	3	0	1	9	576
	学級数	3	3	3	3	3	3	18	(知的1・情緒1)						2	20
神 野	児童数	127	98	120	124	135	117	721	0	3	0	0	2	0	5	726
	学級数	4	3	3	4	4	3	21	(知的1・情緒1)						2	23
西与賀	児童数	49	52	43	56	55	73	328	1	1	0	0	0	0	2	330
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	(知的1)						1	13
嘉 瀬	児童数	44	31	39	39	47	46	246	0	0	0	0	1	1	2	248
	学級数	2	1	1	1	2	2	9	(知的1)						1	10
巨 勢	児童数	39	48	42	46	40	35	250	2	1	0	0	0	1	4	254
	学級数	1	2	2	2	1	1	9	(知的1)						1	10
兵 庫	児童数	124	122	110	121	113	114	704	0	0	2	0	1	1	4	708
	学級数	4	4	3	4	3	3	21	(知的1・情緒1)						2	23
高木瀬	児童数	125	165	100	137	132	126	785	0	1	0	0	0	3	4	789
	学級数	4	5	3	4	4	4	24	(知的1)						1	25
北川副	児童数	114	105	106	94	103	105	627	1	0	0	1	0	1	3	630
	学級数	4	3	3	3	3	3	19	(知的1)						1	20
本 庄	児童数	86	110	85	107	97	93	578	0	0	0	0	2	0	2	580
	学級数	3	4	3	3	3	3	19	(知的1)						1	20
鍋 島	児童数	151	166	174	146	168	169	974	1	0	3	1	4	5	14	988
	学級数	5	5	5	4	5	5	29	(知的1・情緒2・病弱1)						4	33
金 立	児童数	40	39	27	48	31	52	237	0	3	0	0	0	0	3	240
	学級数	1	1	1	2	1	2	8	(知的1)						1	9
久保泉	児童数	21	35	37	31	40	39	203	0	0	1	0	0	0	1	204
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	(知的1)						1	7
芙 蓉	児童数	20	11	19	23	16	22	111	0	0	0	0	0	0	0	111
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	(知的1)						0	6
新 栄	児童数	85	86	78	84	75	79	487	0	2	1	1	0	0	4	491
	学級数	3	3	2	3	2	2	15	(知的1・情緒1)						2	17
若 楠	児童数	82	89	99	92	100	101	563	1	1	0	0	1	1	4	567
	学級数	3	3	3	3	3	3	18	(知的1)						1	19
開 成	児童数	115	96	121	111	118	108	669	1	1	0	1	0	1	4	673
	学級数	4	3	4	3	3	3	20	(知的1・情緒1)						2	22
諸富北	児童数	47	58	53	63	74	61	356	0	2	0	0	0	0	2	358
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	(知的1)						1	13
諸富南	児童数	46	57	57	53	64	65	342	0	1	0	0	2		3	345
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	(知的1)						1	13
春 日	児童数	88	93	80	82	90	80	513	1	1	3	2	0	2	9	522
	学級数	3	3	2	3	3	2	16	(知的2)						2	18
川 上	児童数	70	51	54	73	55	67	370	0	1	1	0	0	0	2	372
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	(知的1)						1	13
松 梅	児童数	8	6	7	9	13	7	50	1	0	1	0	0	0	2	52
	学級数	1	1	1		1	1	5	(知的1)						1	6
春日北	児童数	74	76	67	65	76	81	439	0	0	0	1	1	0	2	441
	学級数	2	2	2	2	2	3	13	(知的1)						1	14
富士南	児童数	8	17	6	14	6	16	67	1	0	1	0	0	0	2	69
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	(知的1)						1	7
富 士	児童数	17	10	14	10	17	16	84	0	0	0	0	0	0	0	84
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	(知的1)						0	6
北 山	児童数	7	6	3	8	7	9	40	0	0	0	0	1	0	1	41
	学級数	1	1	1		1		4	(知的1)						1	5
北山東部	児童数	0	1	3	2	3	2	11	0	0	0	0	0	0	0	11
	学級数	0	1	1		1		3	(知的1)						0	3
三 瀬	児童数	19	10	16	13	19	18	95	0	0	0	1	0	0	1	96
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	(肢体1)						1	7
合 計	児童数	1,951	1,957	1,876	1,964	2,010	2,044	11,802	10	21	27	14	20	24	116	11,918
	学級数	69	68	63	64	65	64	393							40	433

## ○児童生徒数、学級数一覧

(中学校)

平成19年5月1日現在

学校名	区分 学年	普通学級				特別支援学級				合計
		1年生	2年生	3年生	小計	1年生	2年生	3年生	小計	
成章	生徒数	168	148	143	459	3	2	4	9	468
	学級数	5	4	4	13	(知的1・情緒1)			2	15
城南	生徒数	154	170	155	479	4	5	2	11	490
	学級数	4	5	4	13	(知的2)			2	15
昭栄	生徒数	214	194	227	635	7	1	3	11	646
	学級数	6	5	6	17	(知的1・情緒1)			2	19
城東	生徒数	202	186	200	588	4	0	4	8	596
	学級数	6	5	5	16	(知的1・情緒1)			2	18
城西	生徒数	139	166	149	454	1	0	2	3	457
	学級数	4	5	4	13	(知的1)			1	14
城北	生徒数	187	222	199	608	0	0	1	1	609
	学級数	5	6	5	16	(知的1)			1	17
金泉	生徒数	76	58	101	235	0	2	2	4	239
	学級数	2	2	3	7	(知的1)			1	8
芙蓉	生徒数	22	21	24	67	0	0	0	0	67
	学級数	1	1	1	3				0	3
鍋島	生徒数	243	235	233	711	1	0	3	4	715
	学級数	7	6	6	19	(知的1・病弱1)			2	21
諸富	生徒数	113	107	113	333	0	2	1	3	336
	学級数	3	3	3	9	(知的1)			1	10
大和	生徒数	210	222	196	628	3	1	2	6	634
	学級数	6	6	5	17	(知的1・情緒1)			2	19
松梅	生徒数	12	7	17	36	0	0	0	0	36
	学級数	1	1	1	3				0	3
富士	生徒数	21	34	29	84	0	0	0	0	84
	学級数	1	1	1	3				0	3
北山	生徒数	11	12	9	32	0	2	0	2	34
	学級数	1	1	1	3	(知的1)			1	4
三瀬	生徒数	10	18	15	43	0	0	0	0	43
	学級数	1	1	1	3				0	3
合計	生徒数	1,782	1,800	1,810	5,392	23	15	24	62	5,454
	学級数	53	52	50	155				17	172

○学校職員数一覧  
(小学校)

( ) は内数、嘱託職員。(平成19年5月1日現在)

校名	住 所	電話番号	校 長 名	児童 生徒数	学級 数		県 費 職 員 数										市 費 職 員 数					計								
					校長	教頭	教諭	指導主事	教諭	特別	学校長	事務職員	調理員	事務職員	図書職員	学校長	学校長	生活指導員	計											
勸興	佐賀市成章町3番16号	24-4235 F24-4236	末次由貴子	315	15	1	1	22	1	27	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5	32			
循誘	佐賀市高木町15番30号	22-4436 F22-4437	合六 猛	519	18	1	1	24	1	28	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	4.5(4.5)	32.5(4.5)		
日新	佐賀市長瀬町9番15号	24-4261 F24-4262	横尾 理	578	18	1	1	23	1	28	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	8	36	
赤松	佐賀市中の館町1番39号	24-4225 F24-4226	樋口 哲雄	576	20	1	1	24	1	30	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	3.5(2.5)	33.5(2.5)	
神野	佐賀市神野西二丁目4番8号	30-4255 F30-4256	東島 正明	726	23	1	1	25	1	30	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	7.5(3.5)	37.5(3.5)	
西与賀	佐賀市西与賀町大字厘外1437番地	23-6300 F23-6330	宮地 好幸	330	13	1	1	16	1	20	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	4.5(3.5)	24.5(3.5)	
嘉瀬	佐賀市嘉瀬町大字十五12番地1	23-6400 F23-6427	深川 明子	248	10	1	1	11	1	15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	7.5(4.5)	22.5(4.5)	
巨勢	佐賀市巨勢町大字高尾108番地	23-6500 F23-6599	小柳 政文	254	10	1	1	14	1	19	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	4.5(4.5)	23.5(4.5)	
兵庫	佐賀市兵庫町大字洲1295番地	23-5791 F23-5796	楠 修一郎	708	23	1	1	26	1	32	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	3.5(2.5)	35.5(2.5)	
高木瀬	佐賀市高木瀬東五丁目6番12号	31-3398 F31-3399	富吉ゆきえ	789	25	1	1	30	1	35	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	39	
北川副	佐賀市木原三丁目12番1号	23-6096 F23-6064	岡 文敏	630	20	1	1	27	1	32	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	7.5(2.5)	39.5(2.5)	
本庄	佐賀市本庄町大字本庄131番地1	22-3266 F22-3267	秀島 芳博	580	20	1	1	26	1	31	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	7.5(2.5)	38.5(2.5)	
鍋島	佐賀市鍋島一丁目1番2号	31-2629 F31-2646	木塚 松信	988	33	1	2	39	1	47	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	3.5(2.5)	50.5(2.5)	
金立	佐賀市金立町大字千布2144番地1	98-1161 F98-1180	八田 実	240	9	1	1	12	1	16	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	22	
久保泉	佐賀市久保泉町大字川久保1357番地1	98-1171 F98-1190	古原 敏郎	204	7	1	1	9	1	13	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	6.5(3.5)	19.5(3.5)	
芙蓉	佐賀市蓮池町大字小松1000番地	97-1175 F97-1179	寺崎ひさ子	111	6	1	1	8	1	12	0.5(0.5)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	5.5(1.5)	17.5(1.5)	
新栄	佐賀市新栄東二丁目6番34号	22-8111 F22-8112	松尾 雅則	491	17	1	1	21	1	25	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	6.5(2.5)	31.5(2.5)	
若楠	佐賀市若宮三丁目2番1号	31-5051 F31-5009	高木 正文	567	19	1	1	22	1	27	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	7.5(2.5)	34.5(2.5)	
開成	佐賀市鍋島町大字森田35番地1	33-2975 F33-2976	島 英彰	673	22	1	1	24	1	29	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	7.5(2.5)	36.5(2.5)	
諸富北	佐賀市諸富町大字大堂990番地	47-2834 F34-8055	小林 敬正	345	13	1	1	16	1	20	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	3.5(2.5)	23.5(2.5)	
諸富南	佐賀市諸富町大字為重920番地1	47-2824 F34-8046	白木 淳二	522	18	1	1	17	1	21	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	3.5(2.5)	24.5(2.5)	
春日	佐賀市大和町大字尼寺1439番地	62-2128 F51-2080	古賀 一菊	372	13	1	1	18	1	23	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	6.5(2.5)	29.5(2.5)	
川上	佐賀市大和町大字東山田1807番地1	62-2137 F62-2143	木塚 壽子	52	6	1	1	7	1	11	0.5(0.5)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	2.1(1.5)	13(1.5)	
松梅	佐賀市大和町大字松瀬2075番地1	63-0012 F51-0002	杉町 靖彦	441	14	1	1	21	1	25	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	7.5(2.5)	32.5(2.5)	
春日北	佐賀市大和町大字久池井1777番地1	62-5988 F51-2090	大坪 昌幸	69	7	1	1	8	1	12	0.5(0.5)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	2.5(2.5)	14.5(2.5)	
富士南	佐賀市富士町大字小副川1339番地3	63-0013 F63-0173	篠原 英一	84	6	1	1	7	1	11	0.5(0.5)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	1.5(1)	12.5(1)
富士	佐賀市富士町大字古湯898番地	58-2321 F58-2322	小出 洋	41	5	1	1	7	1	11	0.5(0.5)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5(0.5)	2(2)	13(2)	
北山	佐賀市富士町大字中原342番地2	57-2311 F57-2312	川原田賢二郎	11	3	1	1	3	1	7	0.5(0.5)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	9
北山東部	佐賀市富士町大字古湯1514番地2	57-2441 F57-2484	緒方眞智子	96	7	1	1	8	1	13	0.5(0.5)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	9
三瀬	佐賀市三瀬村三瀬2741番地2	56-2004 F56-2374		11,918	433	29	31	538	3	31	33	31	3	31	3	31	3	31	3	31	3	31	3	31	3	31	3	50	151	84
計				11,918	433	29	31	538	3	31	33	31	3	31	3	31	3	31	3	31	3	31	3	31	3	31	3	50	151	84

※小規模校では、学校図書館職員が学校事務職員を兼務。  
※北山小・中学校、松梅小・中学校では、事務職員・事務員は学校兼務。  
※2校兼務の生活指導員は0.5人で記載。

## (中 学 校)

( ) は内数、嘱託職員。(平成19年5月1日現在)

校名	住 所	電話番号	校 長 名	児童 生徒数	学級 数	県 費			市 費			職 員 数			計		
						校長	教頭	教諭	指導主事	継続給付	教諭	事務職員	調理員	事務職員		図書館職員	学校養護士
成章	佐賀市成章町7番1号	24-4265 F24-4266	佐保 文明	468	15	1	1	27	1	1	32	1(1)	1(1)	1(1)	0.5(0.5)	35.5(3.5)	
城南	佐賀市南佐賀一丁目20番1号	24-4338 F24-4339	森山千代子	490	15	1	1	25	1	1	29	1(1)	1(1)	1(1)	0.5(0.5)	32.5(3.5)	
昭栄	佐賀市昭栄町1番7号	24-4238 F24-4239	中村美喜雄	646	19	1	1	30	1	1	34	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	38(4)	
城東	佐賀市巨勢町大字牛島242番地	24-4286 F24-4287	角 孝信	596	18	1	1	29	2	1	34	1(1)	1(1)	1(1)	0.5(0.5)	37.5(3.5)	
城西	佐賀市本庄町大字本庄1021番地1	24-9220 F24-9219	白水 信義	457	14	1	1	25	1	1	30	1(1)	1(1)	1(1)		33(3)	
城北	佐賀市高木瀬西三丁目1番50号	30-9258 F30-2360	石丸 和人	609	17	1	1	28	1	1	32	1(1)	1(1)	1(1)		35(3)	
金泉	佐賀市久保町大字上和泉2361番地1	88-1181 F88-1119	佐藤 範男	239	8	1	1	14	1	1	19	1(1)	1(1)	1(1)		22(3)	
芙蓉	佐賀市蓮池町大字小松1005番地1	97-1171 F97-1174	大曲 尚美	67	3	1	1	9	1	1	13	0.5(0.5)	1	0.5(0.5)		15(1)	
鍋島	佐賀市鍋島一丁目19番1号	30-5811 F30-3812	浜崎 正純	715	21	1	1	33	2	2	39	1(1)	1(1)	1(1)	0.5(0.5)	42.5(3.5)	
諸富	佐賀市諸富町大字徳富2058番地3	47-2331 F34-8014	田原 久巳	336	10	1	1	18	1	1	24	1(1)	1	1(1)		27(2)	
大和	佐賀市大和町大字東山田3554番地1	62-1315 F62-0251	中野 勇	634	19	1	1	33	2	2	39	1(1)	1	1(1)	0.5(0.5)	42.5(2.5)	
松梅	佐賀市大和町大字松瀬2090番地1	63-0812 F51-0003	米澤 宣輝	36	3	1	1	7	1	1	12	0.5(0.5)	0.5	0.5(0.5)		13.5(1)	
富士	佐賀市富士町大字古湯2735番地	58-2201 F58-2202	公門 武敏	84	3	1	1	7	1	1	12	0.5(0.5)	1(1)	0.5(0.5)		14.5(2.5)	
北山	佐賀市富士町大字大野1150番地	57-2211 F57-2212	江口 美好	34	4	1	1	7	1	1	11	0.5(0.5)	0.5	0.5(0.5)		12.5(1)	
三瀬	佐賀市三瀬村三瀬2789番地	56-2106 F56-2005	松尾 浩史	43	3	1	1	7	1	1	11	0.5(0.5)	1(1)	0.5(0.5)		13(2)	
計				5,454	172	15	15	299	5	18	371	12.5(12.5)	0(0)	14(10)	12.5(12.5)	4(4)	43(39)
小中合計				17,372	605	44	46	837	8	49	50	39(39)	50(0)	43(22)	39(39)	5(5)	194(123)

※芙蓉小・中学校では、校長は、学校兼務

※小規模校では、学校図書館職員が学校事務職員を兼務。

※北山小・中学校、松梅小・中学校では、事務職員・事務員は学校兼務。

※2校兼務の生活指導員は0.5人で記載。

## (幼 稚 園)

本庄	佐賀市本庄町大字本庄151番地1	23-8786 F23-8786	(園長) 新開 光子	98	5							園長1	教頭1	教諭6			8
----	------------------	---------------------	---------------	----	---	--	--	--	--	--	--	-----	-----	-----	--	--	---



## 公立小・中学校建物等一覧

平成19年5月1日現在

学 校 名	校 地 面 積 (㎡)			校 舎 面 積 (㎡)			保 有 教 室 数	
	総 面 積	建 物 敷 地 面 積	運 動 場 敷 地 面 積	鉄 筋 ・ 鉄 骨	木 造	計	普 通 教 室	特 別 教 室
本庄幼稚園	3,619	1,518	2,101	697	10	707	5	-
勸興小	25,642	9,993	15,649	5,583	58	5,641	15	10
循誘小	30,518	17,849	12,669	5,529	49	5,578	18	10
日新小	24,783	13,572	11,211	5,636	58	5,694	18	15
赤松小	30,172	17,241	12,931	5,970	76	6,046	20	10
神野小	20,486	12,542	7,944	5,585	139	5,724	23	13
西与賀小	23,023	10,044	12,979	4,578	78	4,656	13	9
嘉瀬小	21,257	11,518	9,739	4,175	109	4,284	10	9
巨勢小	18,362	9,919	8,443	3,377	152	3,529	10	8
兵庫小	23,022	9,540	13,482	4,869	58	4,927	23	6
高木瀬小	25,465	11,116	14,349	5,562	60	5,622	25	8
北川副小	24,586	10,127	14,459	6,189	127	6,316	20	10
本庄小	19,729	10,086	9,643	5,704	60	5,764	21	9
鍋島小	28,816	12,600	16,216	6,895	109	7,004	32	9
金立小	22,491	8,108	14,383	3,357	58	3,415	9	8
久保泉小	22,539	12,711	9,828	3,232	60	3,292	7	10
芙蓉小	13,617	9,727	3,890	2,002	78	2,080	6	7
新栄小	23,124	9,713	13,411	5,190	58	5,248	17	9
若楠小	22,323	10,202	12,121	6,038	78	6,116	19	14
開成小	31,581	20,264	11,317	5,556	116	5,672	22	8
諸富北小	20,820	9,081	11,739	4,101	-	4,101	13	9
諸富南小	21,815	12,284	9,531	4,534	60	4,594	13	9
春日小	20,787	9,953	10,834	5,773	-	5,773	17	12
川上小	21,483	13,154	8,329	4,415	84	4,499	13	10
松梅小	7,158	4,338	2,820	1,849	31	1,880	6	6
春日北小	30,666	17,818	12,848	5,044	-	5,044	14	8
富士南小	21,380	14,028	7,352	-	2,281	2,281	7	6
富士小	11,625	7,693	3,932	2,550	-	2,550	6	8
北山小	19,095	11,759	7,336	655	609	1,264	5	3
北山東部小	12,657	5,820	6,837	-	1,241	1,241	3	8
三瀬小	12,810	6,546	6,264	235	2,339	2,574	7	6
計	651,832	339,346	312,486	124,183	8,226	132,409	432	267

(改築中建物について、完成予定面積を算入し、取り壊し予定面積は除く。)

平成19年5月1日現在

学 校 名	屋 内 運 動 場				給 食 室			プ ー ル		
	構 造	面 積	クラブ ハウス	建 築 年 度	構 造	面 積	建 築 年 度	構 造	面 積	建 築 年 度
本庄幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
勸興小	R	1,049	200	H5	R	169	53	RC	525	33
循誘小	S	878	-	45	R	171	62	FRP	450	H5
日新小	R	1,230	220	H9	R	174	H2	RC	485	41
赤松小	R	1,387	-	52	R	177	H3	ステンス	450	H5
神野小	S	905	-	45	R	170	H5	RC	395	38
西与賀小	S	820	-	56	R	183	55	RC	400	58
嘉瀬小	R	999	200	62	R	155	60	RC	375	40
巨勢小	S	730	-	48	R	155	59	RC	325	37
兵庫小	S	771	-	45	S	204	H18	ステンス	450	H7
高木瀬小	S	1,010	-	47	S	204	H10	RC	465	57
北川副小	S	1,021	-	56	S	204	H12	ステンス	475	61
本庄小	R	1,049	200	H3	R	170	H4	ステンス	450	H3
鍋島小	S	766	-	48	R	204	53	RC	405	40
金立小	S	718	-	46	R	151	55	RC	440	39
久保泉小	S	692	-	44	R	125	H8	RC	375	32
芙蓉小	R	589	-	H12	R	125	H6	RC	450	大33小58
新栄小	S	747	-	48	R	170	46	RC	450	47
若楠小	S	990	-	53	R	187	52	RC	450	53
開成小	R	1,049	200	H1	R	170	H1	FRP	450	H1
諸富北小	R	920	358	H3	-	-	-	RC	325	39
諸富南小	R	990	238	H16	-	-	-	RC	325	45
春日小	R	972	108	57	R	245	52	RC	416	41
川上小	R	942	140	H4	R	219	H4	RC	419	42
松梅小	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
春日北小	R	929	178	H7	R	218	H7	ステンス	455	H7
富士南小	W	892	103	H17	-	-	-	ステンス	325	H17
富士小	R	603	-	51	-	-	-	アルミ合金	477	54
北山小	R S	569	-	H19	-	-	-	-	-	-
北山東部小	R	463	-	57	-	-	-	RC	265	H14
三瀬小	S	660	-	H16	-	-	-	-	-	-
計	-	25,340	2,145	-	-	3,950	-	-	11,272	-

R (=RC)…鉄筋コンクリート、S…鉄骨造、FRP…繊維補強プラスチック

平成19年5月1日現在

学 校 名	校 地 面 積 (㎡)			校 舎 面 積 (㎡)			保 有 教 室 数	
	総 面 積	建物敷地 面 積	運 動 場 敷地面積	鉄 筋 ・ 鉄 骨	木 造	計	普通教室	特別教室
成 章 中	33,931	14,476	19,455	5,962	123	6,085	15	20
城 南 中	35,119	17,405	17,714	7,488	58	7,546	15	20
昭 栄 中	33,091	20,458	12,633	8,263	58	8,321	19	16
城 東 中	27,954	14,728	13,226	7,044	107	7,151	18	21
城 西 中	27,891	12,889	15,002	6,168	58	6,226	14	15
城 北 中	38,889	10,264	28,625	5,747	91	5,838	17	15
金 泉 中	23,524	13,265	10,259	3,656	-	3,656	8	9
芙 蓉 中	15,475	5,083	10,392	1,841	112	1,953	3	10
鍋 島 中	31,600	14,617	16,983	5,686	107	5,793	20	15
諸 富 中	27,746	9,956	17,790	5,643	11	5,654	10	19
大 和 中	37,392	15,159	22,233	7,709	-	7,709	19	20
松 梅 中	15,259	5,838	9,421	2,206	-	2,206	3	11
富 士 中	15,471	8,180	7,291	2,305	612	2,917	3	13
北 山 中	12,657	5,820	6,837	1,511	791	2,302	4	11
三 瀬 中	10,987	8,477	2,510	1,829	-	1,829	3	5
計	386,986	176,615	210,371	73,058	2,128	75,186	171	220

(改築中建物について、完成予定面積を算入し、取り壊し予定面積は除く。)

平成19年5月1日現在

学 校 名	屋 内 運 動 場				給 食 室			プ ー ル		
	構 造	面 積	クラブ ハウス	建 築 年 度	構 造	面 積	建 築 年 度	構 造	面 積	建 築 年 度
成 章 中	R	1,359	-	48	-	-	-	RC	375	37
城 南 中	R	1,537	474	H4	-	-	-	FRP	400	H4
昭 栄 中	R	1,436	-	57	-	-	-	RC	375	38
城 東 中	R	1,277	348	62	-	-	-	FRP	400	H9
城 西 中	R	1,277	348	63	-	-	-	ステンレス	400	63
城 北 中	R	1,315	310	H7	-	-	-	RC	375	44
金 泉 中	S	1,157	180	H17	-	-	-	ステンレス	400	H10
芙 蓉 中	R	749	-	H12	-	-	-	-	-	-
鍋 島 中	R	1,375	269	58	-	-	-	FRP	399	58
諸 富 中	R	1,141	-	41	-	-	-	RC	425	52
大 和 中	R	2,315	199	62	-	-	-	RC	1,000	46
松 梅 中	R	897	-	H2	-	-	-	RC	465	49
富 士 中	S	961	-	41	-	-	-	-	-	-
北 山 中	R S	725	-	H19	-	-	-	-	-	-
三 瀬 中	S	455	-	H16	-	-	-	-	-	-
計	-	17,976	2,128	-	-	-	-	-	5,014	-

R (=RC)…鉄筋コンクリート、S…鉄骨造、FRP…繊維補強プラスチック

## ○就学援助費補助給付状況

(平成18年度)

種 別 \ 内 訳	小 学 校				中 学 校			
	児童総員 (A) 人	給付児童数 (B) 人	給付額 (千円)	B/A (%)	生徒総数 (A) 人	給付生徒数 (B) 人	給付額 (千円)	B/A (%)
修学旅行費補助	12,022	250	2,913	2.1%	5,485	217	11,288	4.0%
旅行費補助 (市費単独事業)	12,022	1,036	1,608	8.6%	5,485	444	1,192	8.1%
学用品費等補助	12,022	1,409	19,729	11.7%	5,485	702	17,244	12.8%
校外活動費補助 (宿泊を伴うもの)	12,022	229	348	1.9%	5,485	13	33	0.2%
新入学児童生徒 学用品費等補助	12,022	210	4,179	1.7%	5,485	246	5,633	4.5%
給食費補助	12,022	1,378	59,339	11.5%	5,485	661	5,674	12.1%
医療費補助	12,022	355	2,848	3.0%	5,485	108	948	2.0%
通学費補助	12,022	0	0	0.0%	5,485	2	52	0.0%
計	—	—	90,964	—	—	—	42,064	—

## ○特別支援教育就学奨励費補助給付状況

(平成18年度)

種 別 \ 内 訳	小 学 校				中 学 校			
	児童総員 (A) 人	給付児童数 (B) 人	給付額 (千円)	B/A (%)	生徒総数 (A) 人	給付生徒数 (B) 人	給付額 (千円)	B/A (%)
修学旅行費補助	118	10	89	8.5%	44	3	84	6.8%
学用品費等補助	118	61	410	51.7%	44	24	301	54.5%
校外活動費補助 (宿泊を伴うもの)	118	6	8	5.1%	44	0	0	0.0%
新入学児童生徒 学用品費等補助	118	10	100	8.5%	44	10	115	22.7%
給食費補助	118	61	1,226	51.7%	44	24	212	54.5%
計	—	—	1,833	—	—	—	712	—

(A) =特別支援学級在籍者数